

科目分類	専門基礎科目 健康の理解と健康支援	開講時期	1年 前期
授業科目	形態機能学 I		
選択/必修	必修	単位数 (時間数)	2単位 60時間
担当教員	杉浦 良啓		
メールアドレス	y-sugiura@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	火曜・水曜 17時まで 木曜 13時30分まで

授業目的	疾病の発症機構および治療、日常生活との関係等を学ぶための基礎知識として、人体の構造と機能を学習する。特に、ホメオスタシスを保ちながら生命活動を維持するために必要な仕組みと器管の連関について総合的に理解する。	
授業概要	正常状態の器官系の連関の中で人体を構成する細胞、骨、筋肉、体液と血液、循環系、呼吸器系の基本的な構造と機能を解剖・生理学的視点から教授する。	
授業内容	第1回 ホメオスタシス 第2回 細胞の構造と機能 第3回 遺伝子、ゲノムとその周辺 第4回 細胞分化と組織 第5回 人体の構造と機能 第6回 骨の構造・機能、成長と老化 第7回 人体骨格と骨の連結 第8回 筋組織の種類と特徴、骨格筋細胞の収縮機構 第9回 筋(身体各部の骨格筋と運動) 第10回 筋(身体各部の骨格筋と運動) 第11回 血液と体液(血液の役割、血液の成分・造血の仕組み) 第12回 血液と体液(血球、血漿と血清、ヘマトクリット) 第13回 血液と体液(血液型・輸血・血液の凝固と線溶) 第14回 血液と体液(体液の水・電解質・酸塩基平衡)	第15回 生体の非特異と特異防御機構 第16回 内分泌系の調節とホルモン 第17回 まとめ 第18回 循環器(心臓の構造) 第19回 循環器(心筋の興奮と収縮) 第20回 循環器(刺激伝導系、心電図) 第21回 循環器(心臓と血流、血管) 第22回 循環器(血管の走行と役割) 第23回 循環器(リンパの働きなど) 第24回 まとめ 第25回 呼吸器(鼻・咽頭・喉頭・気管・気管支・肺の構造) 第26回 呼吸器(換気・拡散、肺および組織におけるガス交換) 第27回 呼吸器(血液の呼吸ガス運搬) 第28回 呼吸器(呼吸運動と調節) 第29回 まとめ 第30回 全体のまとめ
教科書 参考書等	教科書：系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学(第9版)2015、坂井建雄、岡田隆夫、医学書院	
成績評価 基準・方法	試験 70%、小テスト 30%。合格基準は試験と小テストの合計が60%以上。	
履修要件	特になし	
留意事項 その他	学習領域が広範囲なので教科書での予習が必要です。	